

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 2018年12月 7 日

【会社名】 株式会社ケア 2 1

【英訳名】 CARE TWENTYONE CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 依 田 平

【本店の所在の場所】 大阪市北区堂島二丁目 2 番 2 号

【電話番号】 06 (6456) 5697

【事務連絡者氏名】 常務取締役業務統括本部長 遠 藤 昭 夫

【最寄りの連絡場所】 大阪市北区堂島二丁目 2 番 2 号

【電話番号】 06 (6456) 5697

【事務連絡者氏名】 常務取締役業務統括本部長 遠 藤 昭 夫

【縦覧に供する場所】 株式会社ケア 2 1 東京本社
(東京都千代田区鍛冶町二丁目 6 番 1 号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1)当該事象の発生年月日

2018年12月7日

(2)当該事象の内容

連結決算

当連結会計年度は、介護報酬引き下げなどの影響を受けたことにより、特に当社の施設系介護事業の収益性が低下いたしました。また、介護人材の教育事業を展開している連結子会社である株式会社EE21の一部拠点においても、同様に収益性が低下いたしましたので、当該事業の固定資産について減損の兆候が認められることから、当該事業の固定資産について回収可能性を慎重に検討した結果、回収不能と認められる部分につき減損損失を計上いたしました。

個別決算

当事業年度は、介護報酬引き下げなどの影響を受けたことにより、特に当社の施設系介護事業の収益性が低下いたしましたので、当該事業の固定資産について減損の兆候が認められることから、当該事業の固定資産について回収可能性を慎重に検討した結果、回収不能と認められる部分につき減損損失を計上いたしました。

(3)当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

連結決算

当該事象により、2018年10月期決算において、減損処理を行い特別損失180百万円を計上いたしました。

個別決算

当該事象により、2018年10月期決算において、減損処理を行い特別損失171百万円を計上いたしました。